Making “comfort” a standard feature.

「心地良い」が当たり前の世界に。

企業理念

MISSION

私たちは、
地球環境と資源を大切にしながら、
空気・水・熱の科学に基づく
高度な技術によって、
最適空間を創造し、
人類文化の発展に貢献する。

SPIRIT

私たちは、
エンジニアリング・コンストラクターとして
積極的な事業展開を図る。

私たちは、
たえず未来を見つめた技術の開発に取り組み、
時代の変化に俊敏に対応する。

POLICY

〈会社〉
人間尊重の経営

〈職場〉
働きがいのある職場

〈社員〉
自己研鑽とチャレンジ精神溢れる行動

企業理念キーワード

「空気・水・熱の科学」

あらゆる空間の「心地良さ」を実現するには「空気」と「水」と「熱」の最適な組み合わせ(=科学)が必要となり、それらを高度に応用することで温度、湿度、風・水の流れを最適にコントロールすることができます。

「最適空間」

「最適空間」とは、人の暮らしや産業活動など、すべての空間に求められる最も適した環境を意味します。当社グループは「空気・水・熱の科学」に基づく高度な技術によってその空間を創造しています。

「エンジニアリング・コンストラクター」

お客さまの顕在ニーズに応えるだけではなく、潜在ニーズを掘り起こし、または先取りをして、それらのニーズに最適な技術で応える業務(エンジニアリング)を行う事業者(コンストラクター)を意味します。この精神は創業以来、脈々と受け継がれてきたものであり、これを実現するために独自の技術やその応用技術の開発に日々励んでいます。

■ 本レポートの対象範囲

対象組織
株式会社朝日工業社単体を基本とし、内部統制やコンプライアンスなどに関してはグループ全体を対象としています。また、業績は連結の数値を使用しています。

対象期間
2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)を基本とし、必要に応じて2021年度以前および2023年度以降の活動内容も記載しています。

■ 編集方針
本レポートは、朝日工業社グループの中長期的な企業価値向上と持続可能な社会の実現に向けた取り組みを、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまにご理解いただくための「統合報告書」です。編集にあたっては、価値報告財団(VRF)の「国際統合報告フレームワーク」や経済産業省「価値協創ガイダンス」などのガイドラインを参考にしています。

■ 参考としたガイドライン
価値報告財団(VRF) 「国際統合報告フレームワーク」
経済産業省「価値協創ガイダンス」
ISO26000「社会的責任に関する手引き」

■ お問い合せ先
株式会社朝日工業社　経営統括グループ 経営企画室
TEL.03-6452-8181

CONTENTS

Corporate Info／コーポレート情報
01 企業理念
02 編集方針・目次
03 事業内容・事業領域
05 価値創造の歴史
07 財務・非財務ハイライト
09 トップメッセージ
13 朝日工業社グループの価値創造
13 価値創造ストーリー
15 成長戦略(長期ビジョン・中期経営計画)
17 新中期経営計画 ～Beyond the 100th(100周年のその先へ)～
19 ビジネスモデルと強み
21 事業紹介(設備工事事業／機器製造販売事業)
27 研究開発
31 【特集1】建設DXを加速させるBIMの推進
33 【特集2】半導体産業を支える超精密チラーの開発

Sustainability／サステナビリティ・ESG情報
35 朝日工業社グループのサステナビリティ
39 事業活動を通じたサステナビリティにつながる取り組み
41 環境への取り組み
45 社会とのかかわり
57 ガバナンス(誠実で健全な企業経営)

Corporate Data／コーポレートデータ
67 11年間財務サマリー
69 株式情報
70 会社概要

■ 免責事項
本レポートには、朝日工業社グループの過去と現在の事実だけではなく、発行日時点における計画や見通しなどの将来予測が含まれています。この将来予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸与件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象が予測とは異なったものとなる可能性があります。